

健康まえばし21(第2次計画)後期計画 25項目及び7分野・重点課題の指標

健康まえばし21(第2次計画)は、国の健康日本21における53項目の指標のうち、25項目を抜粋し、本市の指標としており、目標値は国に準じます。平成30年度の間評価において、目標を達成している項目については、他の計画等を参考に新たな目標値を設定しています。

25項目の指標	中間評価時(H29)とR2年度の比較
(1)健康寿命の延伸(日常生活に制限のない期間の平均の延伸)【参考】まえばし健康年齢	改善・悪化
(2)75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少	悪化
(3)脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少	改善
妊娠期・乳幼児期・学齢期の健康(18歳以下)	
(4)朝・昼・夕の3食を必ず食べることに気をつけて食事をしている子どもの割合の増加	不明
(5)共食の増加(食事を1人で食べる子どもの割合の減少)	最終年度のみ
(6)全出生数中の低出生体重児の割合の減少	
(7)肥満傾向にある子どもの割合の減少	不明
(8)3歳児でむし歯のない者の割合の増加	悪化
(9)12歳児の1人平均むし歯数の減少	改善
青年期・壮年期の健康(19歳～64歳)	
(10)朝食欠食者の減少	改善・悪化
(11)運動習慣者の割合の増加	悪化
(12)40歳で喪失歯のない者の割合の増加	改善
(13)60歳で24本以上の自分の歯を有する者の割合の増加	悪化
(14)40歳で進行した歯周病を有する者の割合の減少	改善
(15)50歳で進行した歯周病を有する者の割合の減少	改善
(16)60歳で進行した歯周病を有する者の割合の減少	改善
(17)特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上	
(18)適正体重を維持している者の増加(肥満[BMI25以上]、やせ[BMI18.5未満]の減少)	改善・悪化
(19)合併症(糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数)の減少	悪化
(20)血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少	悪化
(21)がん検診受診率の向上	改善・悪化
(22)健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業登録数の増加	改善
高齢期の健康(65歳以上)	
(23)低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加抑制	改善
(24)高齢者の社会参加の促進(就業又は何らかの地域活動をしている高齢者の割合の増加)	改善
(25)認知症サポーター数の増加	改善・悪化

7分野・重点課題の指標

栄養・食生活	バランスのとれた食事をするよう心がけている市民の割合の増加	最終年度のみ
	内臓脂肪症候群の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している市民の割合の増加	最終年度のみ
	週5日以上家族や友人と楽しく食卓を囲む市民の割合の増加	最終年度のみ
休養・こころの健康	産後1か月でEPDS(エジンバラ産後うつ病質問票)9点以上のじょく婦の割合の減少	改善
	睡眠で休養が取れていない者の割合の増加抑制	改善
	誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現(自殺者数の減少)(人口10万対)	改善
たばこ	妊娠中の喫煙をなくす(妊婦の喫煙率の低下)	改善
	成人の喫煙率の減少	改善
アルコール	妊娠中の飲酒をなくす(妊婦の飲酒率の低下)	改善
	適量飲酒者の割合の増加(1日飲酒量1合未満の者の増加)	改善
歯と口の健康	歯科健康診査受診率の向上	改善・悪化
	定期的に歯科健診を受けている者の割合の増加	改善・悪化
	食べる速度が速い者の割合の減少	悪化
健康診査	がん検診要精検者の受診率の向上	改善
重点課題	HbA1c5.6%以上(基準範囲外)の者の割合の増加抑制	改善
	まえばし健康づくり協力店の登録数の増加	改善

★担当からの注目ポイント

- ・こころの健康・たばこ・アルコール・歯周病の割合など改善傾向のある項目がある一方、生活習慣病の一因とされる適正体重・運動習慣者の割合などは悪化しています。最終評価年に向けて課題が見えてきています。
- ・令和2年度は全体的に健診の受診率が低く、比較が難しいデータが多いです。

(1)健康寿命の延伸(日常生活に制限のない期間の平均の延伸)

■健康寿命…国民生活基礎調査に基づき算出

全国	平成22年	平成25年	平成28年	令和元年	令和4年
男性	70.42	71.19	72.14	未確定	
女性	73.62	74.21	74.79	未確定	

群馬県	平成22年	平成25年	平成28年	令和元年	令和4年
男性	71.07	71.64	72.07	未確定	
女性	75.27	75.27	75.20	未確定	

■平均寿命

全国	平成22年	平成25年	平成28年	令和元年	令和2年	令和4年
男性	79.55	80.21	80.98	81.41	未確定	
女性	86.30	86.61	87.14	87.45	未確定	

(簡易生命表より)

■まえばし健康年齢の延伸(参考指標) ※健康寿命とは算出方法が異なるため、比較には適しません。

	平成22年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
男性	78.91	79.91	79.52	79.74	80.20				
女性	83.68	85.13	84.78	85.07	84.20				

【まえばし健康年齢の算出方法について】

前橋市独自方式のため全国、県内比較に適さない。国が算出する「健康寿命」は、不健康者の割合を「国民生活基礎調査」の「日常に制限のない期間の平均」を使用している。前橋市が算出する「まえばし健康年齢」は、不健康者の割合を介護保険給付実績の10月審査分(要支援1・2、要介護1を除く)を使用し、人口と死亡数は当該年度9月末(10月1日)の単年統計数値を使用している。

(2)75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少(人口10万対)

全国	前橋市							目標	
	平成28年度	策定時 平成23年度	中間評価 平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
76.1	76.2	60.1	69.5	70.5	67.7				減少傾向 悪化

データソース:群馬県人口動態統計概況より算出(健康増進課)

(3)脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少(人口10万対)

	全国	前橋市							目標
	平成28年度	策定時 平成23年度	中間評価 平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
男性	36.2	38.2	33.8	35.0	34.7	30.0			41.6 改善
女性	20	25.8	19.1	20.4	17.6	18.2			24.7 改善

データソース:群馬県人口動態統計概況より算出(健康増進課)

★担当からの注目ポイント

- ・まえばし健康年齢は市が独自に計算しています。国が出す健康寿命と異なります。平均寿命と近い年齢になっているので正確な比較には適しませんが、経年でみると市の健康状況の変化がわかります。増減を繰り返しています。
- ・各年齢調整死亡率は年により増減はありますが、だんだんと改善しています。がんについては中間評価年であるH28のデータが良く、「悪化」と判定されています。若い年齢での死亡があると死亡率に影響しやすくデータが悪くなります。

(4)朝・昼・夕の3食を必ず食べることに気をつけて食事をしている子どもの割合の増加

(教)総務課

■朝食を食べる小学5年生

	全国	前橋市							目標
	平成26年度	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度
男子	89.5%	94.4%	97.8%	97.4%	97.5%	未実施			100%に 近づける
女子		94.2%	98.2%	97.0%	98.7%	未実施			

データソース:保健体育指導主事 学校への調査結果(教育委員会総務課)

(5)共食の増加(食事を1人で食べる子どもの割合の減少)

食育推進係

■朝食

	全国	前橋市			目標
	平成26年度	策定時 平成24年度	中間評価 平成28年度	令和3年度	令和4年度
小学生	11.3%				
中学生	31.9%	36.6%	31.1%		減少傾向
高校生		14.4%	50.8%		

■夕食

	全国	前橋市			目標
	平成26年度	策定時 平成24年度	中間評価 平成28年度	令和3年度	令和4年度
小学生	1.9%				
中学生	7.1%	5.7%	7.2%		減少傾向
高校生		2.4%	18.7%		

データソース:食育に関する意識調査(健康増進課)

(6)全出生数中の低出生体重児の割合の減少

子育て支援課

全国	前橋市							目標
	平成28年度	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
9.4%	9.2%	10.9%	9.2%	10.2%	未確定			減少傾向

データソース:群馬県人口動態統計概況より算出(子育て支援課) ※11月確定

(7)肥満傾向にある子どもの割合の減少

(教)総務課

■小学5年生の中等度・高度肥満傾向の割合

	全国	前橋市							目標
	平成28年度	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度
男子	4.55%	6.0%	5.1%	5.7%	6.3%	未実施			減少傾向
女子	3.75%	4.70%	3.1%	3.4%	4.0%	未実施			

不明
不明

データソース:保健体育指導主事 学校への調査結果より(教育委員会総務課)

【参考】全小学生の20%以上肥満(軽度肥満)出現率の増加抑制

前橋市							目標
策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度
9.0%	9.6%	10.0%	10.0%	12.5%			減少傾向 悪化

データソース:学校保健会理事・代議員会資料(教育委員会総務課)

★担当からの注目ポイント

- ・令和2年は他年と比較し、急な増加を見せました。

(8)3歳児でむし歯のない者の割合の増加

群馬県	前橋市							目標	
	平成29年度	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	79.5%	80.1%	87.6%	87.8%	88.9%	83.2%			90%

悪化

データソース:3歳児健康診査(子育て支援課)

(9)12歳児の1人平均むし歯数の減少

群馬県	前橋市							目標	
	平成29年度	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	1.2本	1.01本	0.97本	0.78本	0.88本	0.73本			0.5本

改善

データソース:学校保健統計調査結果(教育委員会総務課)

※R1.11.1第2次群馬県歯科口腔保健推進計画に合わせ、元気県ぐんま21の目標値が変更したため、0.9本から0.5本へ変更

青年期・壮年期の健康(19歳～64歳)

(10)朝食欠食者の減少

	群馬県	前橋市							目標
		平成28年度	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
成人男性	12.3%	9.4%	10.6%	10.9%	11.0%	10.5%			減少傾向
成人女性	4.4%	7.1%	7.1%	10.5%	7.9%	7.4%			

改善

悪化

データソース:国保特定健康診査・後期高齢者健康診査・スマイル健康診査等(e-SUITE抽出)(健康増進課)

※R2年度から後期高齢者健診質問票から朝食欠食の質問項目がなくなるため、75歳以上を除いて再集計した(中間評価時のデータと異なる)

(11)運動習慣者の割合の増加

■20歳～64歳

	全国	前橋市							目標
		平成28年度	策定時 平成25年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
男性	23.9%	35.6%	36.3%	34.0%	34.8%	34.9%			増加傾向
女性	19.0%	32.7%	35.3%	27.7%	27.1%	28.5%			

悪化

悪化

■65歳以上(74歳まで)

	国	前橋市							目標
		平成22年度	策定時 平成25年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
男性	46.5%	55.8%	51.7%	50.0%	49.0%	51.1%			60.0%
女性	38.0%	52.0%	49.7%	48.0%	47.5%	46.1%			46.0%

悪化

悪化

データソース:国保特定健康診査・後期高齢者健康診査・スマイル健康診査等(e-SUITE抽出)(健康増進課)

※R2年度から後期高齢者健診質問票から運動習慣の質問項目がなくなるため、75歳以上を除いて再集計した(中間評価時のデータと異なる)

★担当からの注目ポイント

- ・運動習慣者の割合はすべての年代で悪化しています。特に働く世代の運動習慣者の割合は低いです。

(12)40歳で喪失歯のない者の割合の増加

全国	前橋市							目標
	平成28年度	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
73.4%	80.5%	82.3%	82.5%	83.7%	84.7%			増加傾向

改善

データソース: 成人歯科健康診査(健康増進課)

(13)60歳で24本以上の自分の歯を有する者の割合の増加

全国	前橋市							目標
	平成28年度	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
74.4%	81.8%	92.1%	90.7%	91.4%	88.9%			増加傾向

悪化

データソース: 成人歯科健康診査(健康増進課)

(14)40歳で進行した歯周病を有する者の割合の減少

全国	前橋市							目標
	平成28年度	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
44.7%	39.8%	48.4%	44.0%	52.5%	47.9%			25%

改善

データソース: 成人歯科健康診査(健康増進課)

(15)50歳で進行した歯周病を有する者の割合の減少

群馬県	前橋市							目標
	平成28年度	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
68.3%	35.2%	47.8%	52.5%	51.1%	47.6%			45%

改善

データソース: 成人歯科健康診査(健康増進課)

※R1.11.1元気県ぐんま21の目標値変更に伴い、40%から45%に変更

(16)60歳で進行した歯周病を有する者の割合の減少

全国	前橋市							目標
	平成28年度	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
56.3%	41.7%	56.3%	59.3%	57.5%	55.8%			45%

改善

データソース: 成人歯科健康診査(健康増進課)

(17)特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上

■国保特定健康診査の実施率(40歳～74歳)

全国	前橋市							目標
	平成27年度	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
50.1%	38.5%	42.1%	42.8%	43.8%	未確定			46%

■国保特定保健指導の実施率(40歳～74歳)

全国	前橋市							目標
	平成27年度	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
17.5%	18.2%	21.5%	28.0%	26.0%	未確定			29%

データソース: 国保特定健康診査法定報告(国民健康保険課)

(18) 適正体重を維持している者の増加(肥満[BMI25以上]、やせ[BMI18.5未満]の減少)

地域保健係

	全国	前橋市							目標	
	平成28年度	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	
20歳～60歳代男性の肥満者	32.4%	30.7%	32.7%	35.0%	34.0%	37.1%			28%	悪化
40歳～60歳代女性の肥満者	21.6%	21.1%	22.5%	22.6%	23.1%	24.8%			19%	悪化
20歳代女性のやせ	20.7%	27.7%	25.0%	24.8%	27.0%	20.0%			20%	改善

データソース: 国保特定健康診査・スマイル健康診査等(e-SUITE抽出)(健康増進課)

※スマイル健康診査は18～39歳が対象の健診。

★担当からの注目ポイント

・肥満者の割合は年を追うごとに増加しています。減少に転じた年はH29年以降ありません。

(19) 合併症(糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数)の減少

障害福祉課

	全国	前橋市							目標	
	平成28年度	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	
人口10万対		19.9人	12.4人	18.7人	18.8人	16.4人				悪化
人数	16103人	68人	42人	63人	65人	55人			減少傾向	悪化

データソース: GPRIME(ジープライム)システム(H30. 5抽出)(障害福祉課)

(20) 血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少(HbA1c8.4%以上の者の割合の減少)

地域保健係

	全国	前橋市							目標	
	平成28年度	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	
	0.96%	1.04%	0.93%	0.99%	1.00%	0.96%			減少傾向	悪化

データソース: 国保特定健康診査・後期高齢者健康診査・スマイル健康診査等(e-SUITE抽出)(健康増進課)

(21) がん検診受診率の向上

※中間評価時の受診率は推計値だったが、平成30年度より実数値で表記

健康づくり係

	国	県	前橋市				目標	
	平成29年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
胃がん	8.4%	12.3%	22.4%	22.7%	22.6%			国・県と比較し高値を維持
胸部	7.4%	11.0%	15.9%	15.8%	15.9%			
大腸がん	8.4%	10.0%	15.4%	15.2%	15.0%			
子宮頸がん	16.3%	20.1%	25.2%	25.5%	21.3%			
乳がん	17.4%	21.1%	27.7%	28.0%	21.9%			

データソース: 地域保健・健康増進事業報告40歳～74歳(胃は50歳～74歳、子宮は20歳～74歳)(※～令和元年は～69歳で計上)(健康)

肺・大腸: 受診率=(受診者数/対象者数)×100

胃・子宮・乳: 受診率=(前年度の受診者数+当該年度の受診者数-2年連続の受診者数)/(当該年度の対象者数)×100

(22) 健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業登録数の増加

地域保健係

■まえばしウエルネス企業 登録企業

	全国	前橋市							目標	
	平成28年度	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	
	3,673団体	29団体	68団体	85団体	206団体	242団体			156団体	改善

データソース: まえばしウエルネス企業登録名簿(年度末登録数)(健康増進課)

★担当からの注目ポイント

・令和元年度からの協会けんぽ群馬支部との相互連携により登録企業が急増しています。

(参考) まえばしウエルネス応援企業登録企業数の増加

前橋市						目標
中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度
4社	4社	5社	7社			増加傾向

データソース: まえばしウエルネス企業登録名簿(健康増進課)

高齢期の健康(65歳以上)

(23) 低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加抑制

地域保健係

国	前橋市							目標
	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度
平成28年度	17.9%	19.7%	18.2%	18.1%	18.7%	17.8%		増加抑制

改善

データソース: 後期高齢者健康診査等(e-SUITE抽出)(健康増進課)

【参考】85歳以上のやせ(BMI20以下)の者の割合の増加抑制

前橋市							目標
策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度
35.1%	28.2%	27.3%	27.7%	26.7%			増加抑制

改善

データソース: 後期高齢者健康診査等(e-SUITE抽出)(健康増進課)

【参考】65歳以上の肥満(BMI25以上)の者の割合の減少

	前橋市							目標
	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度
男性	24.9%	27.4%	27.8%	27.7%	28.8%			増加抑制
女性	21.7%	22.8%	23.2%	23.1%	23.4%			増加抑制

悪化

悪化

データソース: 後期高齢者健康診査等(e-SUITE抽出)(健康増進課)

★担当からの注目ポイント

- ・フレイルの1つとされる低栄養傾向の高齢者割合は今年度減少していますが、概ね横ばいです。
- ・高齢者の肥満者割合についても概ね横ばいとなっています。

(24) 高齢者の社会参加の促進【就業又は何らかの地域活動をしている高齢者の割合の増加】

長寿包括ケア課

■基本チェックリスト「週に1回以上は外出している」者の割合

	平成24年度	平成29年度	令和4年度
男性	92.8%	95.0%	
女性	90.3%	95.9%	

H24からだと脳の若返り講座参加者 ※一次対象者除く⇒男性167名、女性453名
H29通所A・通所C参加者 ※要支援者除く⇒男性60名、女性243名

データソース: 基本チェックリスト集計結果(平成24年度:教室開始時、平成29年度:事業対象者登録時)(長寿包括ケア課)

【参考】地域や仲間と交流を図る者の増加(介護予防サポーター登録数)(累積)

長寿包括ケア課

前橋市						目標
中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度
1,085人	1,166人	1,221人	1,249人			1,500人

(25) 認知症サポーター数の増加(認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上)(新規養成数)

長寿包括ケア課

国	前橋市						目標
	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度
平成28年度	880万人	1,516人	2,133人	2,400人	909人		3,335人

データソース: 認知症サポーター養成講座報告

健康まえばし21(第2次計画)後期計画 7分野・重点課題の指標

【栄養・食生活】

(1) バランスのとれた食事をするよう心がけている市民の割合の増加

食育推進係

平成29年度	令和3年度	目標 令和4年
51.2%		60%以上

データソース: 食育に関する意識調査(食育推進計画)(健康増進課)

食育推進係

(2) 内臓脂肪症候群の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している市民の割合の増加

平成29年度	令和3年度	目標 令和4年
38.0%		50%以上

データソース: 食育に関する意識調査(食育推進計画)(健康増進課)

(3) 週5日以上家族や友人と楽しく食卓を囲む市民の割合の増加

食育推進係

平成29年度	令和3年度	目標 令和4年
68.2%		80%以上

データソース: 食育に関する意識調査(食育推進計画)(健康増進課)

25項目の指標より

- (4) 朝・昼・夕の3食を必ず食べることに気をつけて食事をしている子どもの割合の増加
- (5) 共食の増加(食事を1人で食べる子どもの割合の減少)
- (10) 朝食欠食者の減少
- (18) 適正体重を維持している者の増加

【運動】

25項目の指標より

- (11) 運動習慣者の割合の増加
- (18) 適正体重を維持している者の増加

【休養・こころの健康】

(1) 産後1か月でEPDS(エジンバラ産後うつ病質問票)9点以上のじょく婦の割合の減少

子育て支援課

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標 令和4年度
20.9%	19.4%	19.5%	19.2%			減少

データソース: EPDS集計表(健やか親子21参考指標)(子育て支援課)

(2) 睡眠で休養が取れていない者の割合の増加抑制

地域保健係

	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標 令和4年度
18歳～39歳		40.7%	34.6%	33.2%	31.0%			増加抑制
40歳～74歳	20%	22.8%	22.7%	22.4%	21.5%			増加抑制

データソース: スマイル健康診査集計表、国保データベース(KDB)システム(健康増進課)

(3) 誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現(自殺者数の減少)(人口10万対)

保健予防課

平成28年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	目標 令和10年
18.3	19.5	16.9	18.2			12.7

データソース: 厚生労働省「地域における自殺の基礎資料(自殺日ベース 居住地)」

(前橋市自殺対策推進計画)(保健予防課)

25項目の指標より

- (24) 高齢者の社会参加の促進(就業又は何らかの地域活動をしている高齢者の割合の増加)
- (参考) 地域や仲間と交流を図る者の増加(介護予防サポーター登録数)

【たばこ】

(1) 妊娠中の喫煙をなくす(妊婦の喫煙率の低下)

子育て支援課

平成27年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標 令和4年度
2.5%	2.5%	1.2%	1.9%	1.3%			0%

改善

データソース: 3~4か月児健康診査「健やか親子21アンケート」(子育て支援課)

(2) 成人の喫煙率の減少

地域保健係

策定時 平成24年 度	中間評価 平成29年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標 令和4年度
13.3%	13.2%	12.9%	12.8%	11.5%			12%

改善

データソース: 国保データベース(KDB)システム(健康増進課)

【アルコール】

(1) 妊娠中の飲酒をなくす(妊婦の飲酒率の低下)

子育て支援課

平成27年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標 令和4年度
1.0%	1.0%	0.9%	0.5%	0.4%			0%

改善

データソース: 3~4か月児健康診査「健やか親子21アンケート」(子育て支援課)

(2) 適量飲酒者の割合の増加(1日飲酒量1合未満の者の増加)

地域保健係

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標 令和4年度
57.0%	58.1%	58.1%	58.9%			増加傾向

改善

データソース: 国保データベース(KDB)システム(健康増進課)

【歯と口の健康】

(1) 歯科健康診査受診率の向上

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標 令和4年度
妊婦歯科健診	43.6%	41.8%	48.3%	44.5%			50%
成人歯科健診	5.5%	5.6%	6.1%	5.0%			10%

改善

悪化

※目標値は、成人歯科健康診査は平成30年度、妊婦健康診査は令和元年度の歯と口腔の健康づくり連絡会議に

(2) 定期的に歯科健診を受けている者の割合の増加

地域保健係

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標 令和4年度
20・25・30・35歳		34.0%	32.8%	33.9%			増加傾向
40・45・50・55・60歳	42.7%	45.6%	45.1%	43.7%			改善
65・70歳	54.2%	52.4%	58.5%	57.2%			改善

悪化

改善

改善

(3) 食べる速度が速い者の割合の減少

地域保健係

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標 令和4年度
24.0%	25.5%	25.6%	25.2%			減少傾向

悪化

データソース: 国保データベース(KDB)システム(健康増進課)

25項目の指標より

- (8) 3歳児でむし歯のない者の割合の増加
- (9) 12歳児の1人平均むし歯数の減少
- (14) 40歳で進行した歯周病を有する者の割合の減少
- (15) 50歳で進行した歯周病を有する者の割合の減少
- (16) 60歳で進行した歯周病を有する者の割合の減少

【健康診査】

(1)がん検診要精検者の受診率の向上

健康づくり係

	国 平成27年度 受診者分 (H28に差替予定)	県 平成27年度 受診者分 (H28に差替予定)	前橋市					目標	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度 受診者分
胃がん	81.7%	88.3%	93.0%	96.6%	94.6%	95.9%		増加傾向	改善
胸部	83.5%	90.7%	93.1%	93.1%	92.3%	95.4%		増加傾向	改善
大腸がん	70.1%	77.6%	78.6%	80.1%	81.4%	81.6%		90%以上	改善
子宮頸がん	74.4%	88.0%	82.7%	91.5%	94.9%	93.3%		90%以上	改善
乳がん	87.4%	93.6%	93.2%	97.0%	98.1%	97.1%		増加傾向	改善

データソース：プロセス指標 40歳～74歳（健康増進課）

（胃はX線40歳～74歳・内視鏡50歳～74歳、子宮は20歳～74歳）

プロセス指標目標値：90%以上 許容値：70%以上（乳がんは80%以上）

★担当からの注目ポイント

・がん検診要精検者の受診率はH28年度と比較し、全ての項目で改善している。

25項目の指標より

- (17) 特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上
- (21) がん検診受診率の向上

【重点課題】

(1)HbA1c5.6%以上(基準範囲外)の者の割合の増加抑制

地域保健係

	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標 令和4年度	
18歳～39歳	4.7%	18.7%	9.5%	2.8%	5.0%			増加抑制	改善
40歳～74歳	55.6%	65.2%	65.2%	60.4%	63.9%			増加抑制	改善

データソース：スマイル健康診査集計表、国保データベース(KDB)システム(健康増進課)

★担当からの注目ポイント

・18～39歳のデータソースとしているスマイル健診は特定健診と比較し受診者が少なく、一人のデータに左右されやすいため、改善となっているが、安定しない数値。

【参考】非肥満高血糖者の割合

	策定時 平成24年度	中間評価 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
前橋市	11.6%	10.3%	10.3%	10.3%	10.8%		
群馬県	10.8%	10.6%	10.5%	10.6%	11.0%		
全国	10.6%	9.4%	9.3%	9.3%	9.2%		

データソース：国保データベース(KDB)システム(健康増進課)

(2)まえばし健康づくり協力店の登録数の増加

食育推進係

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標 令和4年度
125	135	154			180

データソース：まえばし健康づくり協力店登録名簿(健康増進課)

※目標値は令和元年度登録状況を勘案し、令和2年度食育推進会議にて決定した

25項目の指標より

- (7) 肥満傾向にある子どもの割合の減少
- (11) 運動習慣者の割合の増加
- (18) 適正体重を維持している者の増加
- (20) 血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少
- (参考) 全小学生の20%以上肥満(軽度肥満)出現率の増加抑制

【用語の解説】

- ・年齢調整死亡率・・・年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整しそろえた死亡率
- ・共食・・・家族や友人、仲間と一緒に食事を食べること、食事の準備や片付け、食に関する情報交換も「共食」である